

P70-722

インドネシアに「トビタテ」留学

武田高の当銘さん

イスラム教の食文化 学ぶ

「トビタテ」留学JAPANNに応募し選ばれた。ジャワ島中部のパンジヤルネガラ市で、ホームステイをしながら高校に通う。イスラム教徒（ムスリム）が日本で快適に暮らすために必要な配慮について考える。現地では、戒律に対応したハラル食材を使っただ日本食も振る舞う。

後の6月中旬には広島イスラム文化センター(同市)を通じて、市内のムスリム約50人に生活アンケートをするなどしてきた。児童向けにイスラム教を紹介する本作りや、インドネシアの食文化を知ってもらうワークショップを開く夢を持つ当銘さん。「まずはイスラムの食文化をしつかりと理解していきたい」と意気込む。(堅次亮平)

武田高(東広島市黒瀬町)2年の当銘花奈子さん(16)は同市安芸津町IIが8月中旬からインドネシアに約1カ月滞在し、イスラム教の食文化について学ぶ。文部科学省の留学生支援制度



資料を手に、留学生生活を心待ちにする当銘さん